

問1 日本の歴史における文化作品とその時代背景について述べた次の説明のうち、室町時代の東山文化に該当するものはどれですか。（2017年 沖縄公立入試 類似）

1. 龍安寺にある、水を用いず石と砂のみで自然の風景を表現した石庭
2. 狩野永徳によって描かれた、金箔を多用し力強い筆致が特徴の唐獅子図屏風
3. 出雲の阿国が京都で始めたと言われる、後の歌舞伎の原型となった芸能
4. 尾形光琳によって描かれた、徳川綱吉の時代の華やかさを象徴する風神雷神図屏風

問2 応仁の乱ののち、戦災によって荒廃した京都において、自分たちの力で都市を復興させ、自治組織を形成して治安維持や祭礼の運営にあたった有力な商工業者の集団を何と呼びますか。（2018年 奈良公立入試 類似）

1. 町衆
2. 庄屋
3. 株仲間
4. 京都所司代

問3 室町時代に広まった書院造が、それ以前の平安時代に主流だった寝殿造と大きく異なる点はどこにありますか。住宅の構造や設えの変化について正しく述べたものを選びなさい。（2016年 岡山公立入試 類似）

1. 板敷きの床に円座を置いて座る形式から、床一面に畳を敷き詰める形式へと変化した。
2. 建物の周囲に池を作り、橋でつないだ複数の建物を回廊で結ぶ広大な造りへと変化した。
3. 屋根に瓦を葺き、外壁を石造りやレンガ造りにすることで防火性を高める工夫がなされた。
4. 部屋の仕切りをなくして開放的な空間を作り、カーテンのような布で空間を区切るようになった。

問4 室町時代の交通網において、琵琶湖沿岸の坂本や大津が物流の要所として発展した理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 石川公立入試 類似）

1. 日本海側から届いた物資を、水運から陸運へ切り替えて京都へ運ぶための中継地点だったから
2. 室町幕府が日本海側の年貢を直接管理するために、巨大な倉庫群である蔵屋敷を設置したから
3. 瀬戸内海から運ばれてきた西国の特産品を、北陸地方へ送るための唯一の輸出港だったから
4. 海外貿易の拠点として、明（中国）から届いた貨幣や商品を西日本の各地へ卸す場所だったから

問5 飛鳥時代から室町時代初期にかけての日本の歴史的事項について、古いものから順に正しく並べ替えたものを選びなさい。

（2017年 鳥取公立入試 類似）

1. 大化の改新 → 平将門の乱 → 平治の乱 → 承久の乱 → 建武の新政
2. 大化の改新 → 平治の乱 → 平将門の乱 → 承久の乱 → 建武の新政
3. 大化の改新 → 平将門の乱 → 承久の乱 → 平治の乱 → 建武の新政
4. 大化の改新 → 平将門の乱 → 平治の乱 → 建武の新政 → 承久の乱

問6 室町時代の「管領」という役職の仕組みについて、その特徴を背景とともに説明したものとして正しいものはどれか。（2020年

岩手県公立入試 類似）

1. 将軍の権力を絶対的なものにするため、特定の家系ではなく能力のある下級武士から選ばれた。
2. 鎌倉時代以来の伝統に基づき、天皇が任命する最高位の武官として軍事指揮権のみを行使した。
3. 有力な守護大名による連合政権的な性格を持ち、有力家系が交代で就任することで勢力の均衡を図った。
4. 江戸時代の幕藩体制を先取りし、地方の守護を監視するために将軍直属の密偵としての役割を担った。

問7 15世紀ごろ、沖縄本島の首里を中心とした琉球王国は、東アジアと東南アジアを結ぶ地理的条件を活かして、各地の特産品を仕入れては他国へ転売することで大きな利益を上げました。このような貿易の形態を何といいますか。（2021年 新潟県公立入試 類似）

1. 中継貿易
2. 勘合貿易
3. 南蛮貿易
4. 朱印船貿易

問8 応仁の乱以後、室町幕府の支配力が弱まったことで、各地で実力のある者が上の身分の者を倒して勢力を広げる社会的な風潮が見られるようになりました。このような風潮を何と呼びますか。（2016年 岐阜公立入試 類似）

1. 下剋上
2. 御恩と奉公
3. 寄合
4. 徳政

問9 1467年から始まった出来事を記した年表において、約11年間にわたり戦乱の中心地となり、多くの寺院や貴族の屋敷が焼失して荒廃した都市はどこですか。（2024年 長崎公立入試 類似）

1. 京都
2. 鎌倉
3. 平泉
4. 太宰府

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 龍安寺にある、水を用いず石と砂のみで自然の風景を表現した石庭	龍安寺の石庭は室町時代の東山文化を代表する作品です。他の選択肢について、唐獅子図屏風や阿国歌舞伎は織田信長や豊臣秀吉が活躍した安土桃山文化の特色であり、尾形光琳の作品は江戸時代の元禄文化に属します。時代ごとの担い手や好みの違いを区別することが重要です。
問2	<b>答え 1</b> 町衆	応仁の乱後の京都では、幕府の権威が衰える中で、富裕な商工業者たちが自衛や町の復興のために団結しました。彼らは「町衆」と呼ばれ、自分たちの町を自分たちで守るといった強い自治の意識を持ち、中断されていた祇園祭を再興させるなど、京都の都市文化の担い手となりました。
問3	<b>答え 1</b> 板敷きの床に円座を置いて座る形式から、床一面に畳を敷き詰める形式へと変化した。	平安時代の寝殿造は板張りの床が基本で、座る場所にだけ畳（円座など）を置いていました。しかし、書院造では部屋全体に畳を敷き詰めるようになり、さらに障子や襖によって部屋を明確に仕切る機能的な構造へと進化しました。これにより、接客や読書といった目的に応じた個別の空間作りが可能になりました。
問4	<b>答え 1</b> 日本海側から届いた物資を、水運から陸運へ切り替えて京都へ運ぶための中継地点だったから	室町時代の日本海側（北陸など）からの物資は、一度陸路で琵琶湖北岸へ運ばれ、そこから船で湖を縦断して大津や坂本に到着しました。大津・坂本は京都に極めて近く、ここで船から降ろされた荷物が馬借の手によって京都へ運ばれたため、水運と陸運をつなぐ「中継地」として重要な役割を果たしました。蔵屋敷は主に江戸時代の制度であり、また琵琶湖は瀬戸内海のルートとは直接関係ありません。
問5	<b>答え 1</b> 大化の改新 → 平将門の乱 → 平治の乱 → 承久の乱 → 建武の新政	大化の改新は7世紀の中大兄皇子らによる政治改革です。平将門の乱は10世紀中頃の平安時代中期に東国で起きた武士の反乱です。平治の乱は12世紀後半、平氏が権力を握るきっかけとなった源氏との争いです。承久の乱は13世紀前半の鎌倉時代に後鳥羽上皇が幕府を倒そうとした事件です。建武の新政は14世紀、鎌倉幕府滅亡直後に後醍醐天皇が行った政治改革を指します。
問6	<b>答え 3</b> 有力な守護大名による連合政権的な性格を持ち、有力家系が交代で就任することで勢力の均衡を図った。	室町幕府は、足利尊氏が各地の有力武士を「守護」として認めることで成立した組織であり、將軍独裁ではなく守護大名の連合体としての側面を強く持っていました。そのため、中央政治においても特定の有力守護（細川・斯波・畠山）が「管領」を交代で務めることで、有力者同士のバランスを取りながら政治を運営する仕組みが取られていました。
問7	<b>答え 1</b> 中継貿易	琉球王国は、自国の産品である硫黄だけでなく、日本、中国（明）、朝鮮、さらには東南アジア諸国を繋ぐネットワークを築きました。産地から仕入れた品物を別の国へ運んで売るという「仲介役」を担ったことから、この名称と呼ばれます。1429年に尚巴志が三山を統一して以降、首里城を拠点に国際色豊かな文化が発展しました。
問8	<b>答え 1</b> 下剋上	応仁の乱によって幕府や守護大名の支配力が衰えると、下の者が上の者を実力で打ち倒して権力を握る「下剋上（げこくじょう）」の風潮が強まりました。これにより、各地で実力を持った戦国大名が台頭し、日本は戦国時代へと突入していきました。
問9	<b>答え 1</b> 京都	応仁の乱は、当時の政治の中心地であった京都を主な舞台として戦われました。この長期にわたる戦いにより、京都の街の大部分は焼き払われて荒廃し、幕府の権威も大きく低下しました。これ以降、実力のある者が上位の者を打ち倒す「下剋上」の風潮が強まり、各地の守護大名が自立していく戦国時代へと移り変わっていきました。

問1 後醍醐天皇が始めた「建武の新政」に対し、足利尊氏が反乱を起こして京都に幕府を開くに至った歴史的背景とその後の状況について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 高知公立入試 類似）

1. 恩賞などで公家が優遇されたことに不満を持つ武士の支持を集めて挙兵し、京都に新たな天皇を立てたことで、二つの朝廷が並立する南北朝時代が始まった。
2. 元軍の襲来以降に生活が困窮した御家人を救うために徳政令を発布したが、効果がなかったため、自ら新しい幕府を組織して政治の安定を図った。
3. 有力な守護大名の勢力を抑えるために京都の室町に花の御所を造営し、南北朝の合一を成し遂げることで将軍の権威を全国に知らしめた。
4. 平氏を滅ぼした後後白河上皇と対立したが、朝廷から征夷大将軍に任命されたことを機に、政治の拠点を京都から東国の鎌倉へと移した。

問2 鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇が始めた新しい政治は、わずか2年ほどで失敗に終わりました。この政治が武士たちの支持を失い、短期間で挫折した背景を説明した文として、最も適切なものはどれか。（2026年 群馬公立入試 類似）

1. 武士の功績に対する恩賞が不十分であったり、土地をめぐる裁判が混乱したりしたことで、武士の不満が高まったため
2. 鎌倉時代から続く執権政治をさらに強化しようとしたことで、天皇と公家の対立が深まったため
3. 承久の乱の際と同じように、天皇が武士に宣旨を出して兵を集めようとしたが、誰も応じなかったため
4. 北条氏の勢力が急速に回復し、再び鎌倉に幕府を再興して政治の実権を奪い返したため

問3 鎌倉時代から室町時代にかけて、和人とアイヌの人々との間で行われた交易や当時の社会状況について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）

1. アイヌの人々との交易によって、鮭や昆布、毛皮などの北方の産品が和人を通じて京都などの都市へ運ばれた。
2. 交易の対価として日本からは大量の銀が輸出され、アイヌの人々を通じて中国の特産品が大量に輸入された。
3. 西日本を中心に、干害に強い大唐米の栽培や二毛作が広がり、用水路管理のための組織化も進んだ。
4. アイヌの人々との交易を独占するため、幕府は全国に五人組を組織して農民の行動を厳しく制限した。

問4 室町時代、農民たちは「惣村」と呼ばれる自治組織を作り、村の運営を自分たちで行うようになりました。14世紀初頭には屋敷地が点在していた村でも、15世紀後半になると屋敷を一箇所に集め、周囲に「濠（ほり）」をめぐる形態へと変化した事例が見られます。このような村が作られた主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）

1. 外敵や戦乱から村を守るため、自衛の機能を高めること
2. 庄園領主による支配を強化し、年貢を確実に徴収すること
3. 城下町を建設し、周辺地域との商業取引を盛んにすること
4. 幕府が農民の移動を制限し、居住地を管理しやすくすること

問5 室町時代の「惣」の仕組みや背景について、当時の社会情勢を踏まえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 奈良公立入試 類似）

1. 農民たちが寄合を開いて村の掟を定め、団結して領主への直訴や土一揆を行うこともあった
2. 室町幕府が農民を支配するために組織した行政機関であり、役人である武士が運営を主導した
3. 仏教の布教を目的とした宗教的な集まりであり、農業経営や村の政治に関わることはなかった
4. 特定の特権を持つ商人たちが結成した同業者組織であり、市場での独占販売権を行使した

問6 室町時代の日明貿易（勘合貿易）の仕組みについて、日本側と明側で半分ずつ保管し、入港時に照らし合わせて本物であることを確認した札の名称を選びなさい。（2018年 佐賀公立入試 類似）

1. 勘合
2. 朱印状
3. 引換券
4. 割符

問7 中世の歴史年表において、室町幕府の成立に大きく貢献し、九州における有力な守護大名として勢力を誇った大友氏の説明として最も適切なものを選びなさい。（2020年 神奈川県公立入試 類似）

1. 足利尊氏を支援した功績により、豊前や豊後などの守護に任命された。
2. 鎌倉幕府の執権として、九州の御家人を統率し元寇の防衛にあたった。
3. 肥前を拠点として勢力を伸ばし、戦国時代に九州を二分する勢力となった。
4. 関ヶ原の戦いにおいて西軍に属したため、領地を大幅に削減された。

問8 15世紀に尚氏によって建国された琉球王国が、中国、日本、東南アジアを繋ぐ中継貿易によって繁栄を遂げた背景には、どのような当時の国際状況があったと考えられますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。（2020年 高知公立入試 類似）

1. 中国の明が私的な海外渡航を禁じる「海禁」政策をとる中、琉球が朝貢貿易を許された特権を利用したため。
2. 日本国内の銀の生産量が減少し、琉球が中国からの金輸入を独占する代理人の役割を果たしたため。
3. 東南アジア諸国が日本との直接貿易を拒否したため、宗教的に中立な琉球が仲介役として選ばれたため。
4. モンゴル帝国の衰退により陸のシルクロードが遮断され、琉球を通る東シナ海ルートが唯一の道となったため。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 恩賞などで公家が優遇されたことに不満を持つ武士の支持を集めて挙兵し、京都に新たな天皇を立てたことで、二つの朝廷が並立する南北朝時代が始まった。	建武の新政では、武士の土地所有権が不安定になったり、恩賞が不公平であったりしたため、武士たちはかつての幕府のような武家政権の再興を望みました。足利尊氏はこの期待に応える形で後醍醐天皇に背き、京都（北朝）と吉野（南朝）という二つの朝廷が約60年にわたって争う事態を招きました。なお、南北朝の合一や室町での御所造営は、3代将軍の足利義満の事績です。
問2	<b>答え 1</b> 武士の功績に対する恩賞が不十分であったり、土地をめぐる裁判が混乱したりしたことで、武士の不満が高まったため	建武の新政において、後醍醐天皇は天皇への権力集中を目指しましたが、鎌倉幕府を倒す際に活躍した武士たちの期待に応えることができませんでした。特に、命をかけて戦った恩賞としての土地配分が不公平であったり、慣れない法制度による裁判が停滞したりしたことは、生活の基盤を土地に置く武士たちの強い不満を招きました。その結果、武士たちは足利尊氏などの勢力に味方するようになり、新政は崩壊しました。
問3	<b>答え 1</b> アイヌの人々との交易によって、鮭や昆布、毛皮などの北方の産品が和人を通じて京都などの都市へ運ばれた。	中世において、北海道を中心に独自の文化を築いていたアイヌの人々は、和人と盛んに交易を行いました。アイヌ側からは鮭、昆布、アザラシなどの毛皮といった北方の豊かな特産品が提供され、これらは和人の商船などによって京都をはじめとする各地へ運ばれ、当時の人々の食生活や文化を支える重要な役割を果たしました。
問4	<b>答え 1</b> 外敵や戦乱から村を守るため、自衛の機能を高めること	室町時代中期以降、応仁の乱などの戦乱が続く中で、農民たちは自衛のために結束を強めました。それまでバラバラだった屋敷地を集中させ、周囲に「濠」や土塁を築くことで、敵の侵入を防ぐ「環濠集落」が形成されました。これは惣村による自治の進展を示す象徴的な村の形態です。
問5	<b>答え 1</b> 農民たちが寄合を開いて村の掟を定め、団結して領主への直訴や土一揆を行うこともあった	「惣」は農民による自治組織であり、村の重要な事項は「寄合（よりあい）」という会議で決定されました。この団結力は単なる村の管理に留まらず、過重な年貢に苦しむ際には、領主に対して減免を求めたり、借金の帳消しを求める「土一揆（つちいっき）」へと発展したりすることもあり、当時の社会において大きな影響力を持ちました。
問6	<b>答え 1</b> 勘合	日明貿易では、偽造を防ぐために「勘合」と呼ばれる帳簿の切り紙（合い札）が使われました。日本側と明側がそれぞれを照合することで、正式な使節であることを証明したため、この貿易は「勘合貿易」とも呼ばれます。選択肢にある「朱印状」は戦国時代末期から江戸時代初期にかけての貿易で用いられた許可証であり、混同しないよう注意が必要です。
問7	<b>答え 1</b> 足利尊氏を支援した功績により、豊前や豊後などの守護に任命された。	大友氏は、鎌倉時代から続く名門ですが、特に室町幕府の創設者である足利尊氏を助けたことで、幕府から九州統治の重要な役割である「守護」に任じられました。これにより、豊前や豊後といった地域を支配する守護大名としての地位を確固たるものにしました。島津氏は薩摩を拠点とし、龍造寺氏は肥前を拠点とした一族です。
問8	<b>答え 1</b> 中国の明が私的な海外渡航を禁じる「海禁」政策をとる中、琉球が朝貢貿易を許された特権を利用したため。	当時の中国（明）は、民間人の勝手な海外渡航を禁じる「海禁」政策をとっており、周辺諸国との取引は「朝貢（皇帝に貢ぎ物をして返礼品を受け取る形式）」に限られていました。琉球王国はこの朝貢貿易を頻繁に行うことを許されていたため、中国の生糸や陶磁器を正規に手に入れ、それを東南アジアや日本へ転売する、という独占的な仲介ポジションを確立することができたのです。

問1 室町時代、足利義満が明との間で始めた貿易では、当時「倭寇」と呼ばれた海賊による私貿易船と、幕府が認めた正式な貿易船を区別する必要がありました。このとき、二枚に分割された合札を照合することで、正式な船であることを証明した道具を何とといいますか。 (2017年 大阪公立入試 類似)

1. 勘合（勘合符） 2. 朱印状 3. 割印 4. 手形

問2 後醍醐天皇のもとで、楠木正成らが幕府軍と戦い勝利したことで実現した「建武の新政」が、わずか2年余りで失敗に終わった主な理由として正しいものはどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 香川公立入試 類似)

1. キリスト教の布教を認めたことで、仏教勢力からの激しい反発を受けたため 2. 恩賞が不公平で公家が優遇されるなど、武士の不満が高まったため 3. 元（モンゴル帝国）が再び日本に侵攻し、政治が機能しなくなったため 4. 参勤交代の制度を導入したことで、諸大名の経済力が低下したため

問3 室町幕府と禅宗の関係について、当時の政治や文化に与えた影響を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2024年 福井公立入試 類似)

1. 幕府は禅宗の僧侶が持つ高い教養を評価し、外交の顧問として重用したり、大陸の文化を取り入れたりした。 2. 幕府は天台宗を国教に近い存在として保護し、比叡山延暦寺の軍事力を利用して地方の守護大名を統制した。 3. 幕府は真言宗の僧侶による加持祈禱を重視し、干ばつや飢饉の際に行う大規模な儀式を政治の柱に据えた。 4. 幕府は特定の宗派と結びつくことを避け、どの仏教勢力とも一定の距離を保つことで中立的な立場から民衆を支配した。

問4 室町時代、近畿地方を中心に農民たちが自衛や用水の管理などを目的として結成した、自治的な村組織を何と呼びますか。 (2025年 群馬公立入試 類似)

1. 惣村 2. 座 3. 問丸 4. 株仲間

問5 室町時代に農民たちが借金の帳消しを求めて起こした「土一揆」において、酒屋や土倉が襲撃の対象となった理由と、その際に行われた具体的な行動として正しいものはどれか。 (2026年 長野公立入試 類似)

1. 高利貸しへの不満から、借金の証文を破り捨てるなどして借金の無効化を狙った 2. 特権的な商工業者による独占に反対し、自由な商売ができるよう訴えた 3. 幕府の役人と癒着していたことに抗議し、新たな村の掟を認めるよう要求した 4. 年貢の取り立てを厳しくした代官を追放するため、武器を奪い取ろうとした

問6 室町幕府の三代将軍である足利義満が、明との間で始めた貿易において、当時、東シナ海などで略奪行為を行っていた海賊（倭寇）と、幕府が認めた正式な貿易船を厳格に区別するために用いられた符札の名称を答えなさい。 (2019年 和歌山公立入試 類似)

1. 勘合 2. 朱印状 3. 御教書 4. 割符

問7 室町幕府の政治体制において、足利氏の一門である有力な守護大名が任命され、将軍に次ぐ立場として幕府の政務を統括した最高職を何とといいますか。 (2019年 山口公立入試 類似)

1. 管領 2. 執権 3. 老中 4. 摂政

問8 室町時代に行われた日明貿易において、一組の紙を半分に切り、一方は幕府が、もう一方は明が保管するという仕組みが採用された理由として、最も適切な説明はどれか。 (2019年 和歌山公立入試 類似)

1. 東シナ海などで活動する海賊（倭寇）と、幕府が公認した正式な貿易船を識別するため 2. キリスト教の布教を目的とする宣教師が、貿易船に紛れて入国するのを防ぐため 3. 博多や堺の商人が幕府の許可なく独自に明と取引を行うことを禁止するため 4. 明から輸入される銅銭の量を制限し、国内の物価が変動するのを抑えるため

問9 1467年に足利将軍家のあとつぎ問題や、幕府の要職である管領の家督争いをきっかけとして京都で始まり、その後11年間にわたって全国に広がった大規模な内乱を何とといいますか。 (2023年 福島県公立入試 類似)

1. 応仁の乱 2. 観応の擾乱 3. 島原の乱 4. 承久の乱

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>勘合（勘合符）</b>	足利義満は明の皇帝からの要求を受け、倭寇を鎮めることを条件に日明貿易を開始しました。この貿易では、あらかじめ日本側と明側で半分に分けた「勘合」という紙を所持し、港でそれらを突き合わせて一致するかを確認する仕組みが導入されました。これにより、幕府の許可を得ていない倭寇による密貿易を排除しました。
問2	<b>答え 2</b> <b>恩賞が不公平で公家が優遇されるなど、武士の不満が高まったため</b>	後醍醐天皇は公家を重用し、命をかけて戦った武士たちへの恩賞（土地など）が不十分であったり、土地の所有権を巡る裁判が混乱したりしました。このため、武士たちは急速に新政から離れ、足利尊氏を支持するようになっていきました。
問3	<b>答え 1</b> <b>幕府は禅宗の僧侶が持つ高い教養を評価し、外交の顧問として重用したり、大陸の文化を取り入れたりした。</b>	足利義満をはじめとする室町幕府の将軍たちは、禅宗を厚く保護しました。禅宗の僧侶は中国（明）の文化や制度に詳しく、漢文の知識も豊富だったため、幕府の政治顧問や外交実務を担うようになりました。また、この結びつきによって、水墨画や茶の湯などの「五山文化」が栄える背景となりました。
問4	<b>答え 1</b> <b>惣村</b>	室町時代になると、農民が団結して自立的に運営を行う「惣村」が形成されました。惣村では、村の神社などで「寄合」と呼ばれる会議を開き、入会地の管理や用水の配分、年貢の納入交渉などを共同で行いました。こうした自治の広がりは、当時の農民が社会的地位を高めていたことを示しています。
問5	<b>答え 1</b> <b>高利貸しへの不満から、借金の証文を破り捨てるなどして借金の無効化を狙った</b>	生活に困窮した農民たちは、団結して「徳政（借金の帳消し）」を求める土一揆を起こしました。彼らは高利貸しを行っていた酒屋や土倉を襲い、物理的に借金の証拠をなくすために借金の証文を破棄したり、質入れしていた品物を取り返したりしました。
問6	<b>答え 1</b> <b>勘合</b>	足利義満は明の皇帝から日本国王として認められ、日明貿易を開始しました。当時、沿岸部を荒らす倭寇の存在が国際問題となっており、明側からその取り締まりを強く求められていました。そこで、中央に「本」という文字などが書かれた紙を左右半分に切り、日本側と明側でそれぞれ保管し、入港時にそれらを照合することで、正式な貿易船であることを証明する仕組みが導入されました。
問7	<b>答え 1</b> <b>管領</b>	室町幕府において将軍を補佐する最高職であり、細川・斯波・畠山の三氏が交代で就任したことから「三管領」とも呼ばれます。鎌倉幕府の執権、江戸幕府の老中に相当する役職ですが、有力な守護大名がその職に就き、幕政を左右した点が室町幕府の大きな特徴です。
問8	<b>答え 1</b> <b>東シナ海などで活動する海賊（倭寇）と、幕府が公認した正式な貿易船を識別するため</b>	日明貿易は、別名「勘合貿易」とも呼ばれます。文字の書かれた紙を半分に分けるという方法は、偽造が困難な証明書としての役割を果たしました。これにより、明の沿岸を襲っていた倭寇を排除しつつ、幕府が独占的に利益を得られる正式な外交ルートを確認することが目的でした。他の選択肢にあるキリスト教の制限は後の江戸時代の政策であり、銅銭の輸入制限はこの貿易の主目的ではありません。
問9	<b>答え 1</b> <b>応仁の乱</b>	8代将軍足利義政のあとつぎ争いに、有力な守護大名である細川氏と山名氏の対立が結びつき、京都を主な戦場として始まりました。この戦乱により幕府の力は衰え、実力のある者が上の者を倒す「下剋上」の風潮が広まり、戦国時代へと突入する契機となりました。

問1 15世紀の琉球王国が行った交易の仕組みについて、当時の物流の状況を具体的に説明したものとして、正しいものを選びなさい。（2019年 長野県公立入試 類似）

- 中国から輸入した生糸や陶磁器を日本や東南アジアに売り、東南アジアから輸入した象牙や香料を中国や日本に売る役割を果たした。
- 日本国内で大量生産された生糸を、琉球を経由して直接中国へ輸出するルートを独占し、中国からの支払いを銀で受け取っていた。
- 東南アジア諸国との取引を拒絶し、中国から輸入した陶磁器を自国の王宮でのみ使用することを目的とした限定的な貿易を行っていた。
- 日本との直接取引のみに依存しており、東南アジアの産物はすべて日本国内の商人が琉球に持ち込んだものだけを買取っていた。

問2 室町時代の足利義政が興した東山文化において、現在の和室の原型とされる住宅様式が確立されました。銀閣寺（慈照寺）にある東求堂の内部に見られる、畳を敷き詰め、床の間や棚、障子などを備えた建築様式を何と呼びますか。（2025年 岡山公立入試 類似）

- 寝殿造
- 書院造
- 校倉造
- 合掌造

問3 室町時代に足利義満が始めた明との貿易において、わざわざ「勘合」と呼ばれる札を半分に分けて照らし合わせる方法が採用された目的として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 大阪公立入試 類似）

- 倭寇と呼ばれる海賊による密貿易を防ぎ、正式な貿易船であることを証明するため
- 朝鮮半島を経由せずに、直接中国の港へ入港する許可を個別に得るため
- 幕府が独占していた金や銀の輸出量を、明の役人と正確に照合するため
- 明の皇帝から授かった日本国王の称号が、世襲であることを確認するため

問4 室町時代、足利義満が中国の明と始めた貿易において、正式な貿易船と海賊である倭寇を区別するために使用された、割印を合わせた証明書を何といいますか。（2018年 岐阜公立入試 類似）

- 勘合
- 朱印状
- 御朱印状
- 割符

問5 室町時代、京都や奈良などの都市部では商工業が発達し、金融業を営む勢力が大きな経済力を持つようになりました。幕府に税を納める見返りに、質を取って金を貸し付けるなどの高利貸しを営んでいた者たちの組み合わせとして適切なものはどれですか。（2019年 広島公立入試 類似）

- 土倉・酒屋
- 両替商・蔵元
- 問屋・株仲間
- 地主・小作人

問6 室町時代の文化において、能と密接に関わりながら発展した「狂言」の性質について説明したものとして、最も適切なものはどれかを選びなさい。（2021年 宮城県公立入試 類似）

- 当時の民衆の生活などをユーモラスに描いたせりふ劇である。
- 江戸時代の庶民の間で流行した、社会を風刺する短歌である。
- 三味線の伴奏に合わせて人形を操る、江戸時代に発達した演劇である。
- 多色刷りの版画であり、江戸時代の風俗を鮮やかに描き出したものである。

問7 1428年に近江国の運送業者らが中心となって起こした「正長の土一揆」に関する説明として、当時の社会状況や背景を正しく述べているものはどれですか。（2016年 大阪公立入試 類似）

- 農民たちが『徳政』を求めて蜂起し、京都の質屋や酒屋を襲って借金の証文を破棄させた。
- 幕府が武士の生活を救済するために『棄捐令』を出し、商人からの借金をすべて強制的に帳消しにした。
- 元寇による恩賞不足に不満を持った御家人が、幕府に対して失った領地の無償返還を求めて決起した。
- 飢饉によって困窮した農民が、江戸幕府に対して年貢の減免と救済を求める「代表越訴」を行った。

問8 室町時代に足利義政が慈照寺（銀閣）の境内に建立した「東求堂同仁斎（とうぐどうどうじんさい）」は、現代の和風建築の源流とされています。畳を敷き詰め、障子や床の間、違棚などを備えたこの建築様式の名称として正しいものを、次から選びなさい。（2024年 岐阜公立入試 類似）

- 寝殿造
- 書院造
- 校倉造
- 唐造

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 中国から輸入した生糸や陶磁器を日本や東南アジアに売り、東南アジアから輸入した象牙や香料を中国や日本に売る役割を果たした。	琉球王国は、中国から手に入れた高度な工芸品や繊維製品を日本や東南アジアへ運び、逆に熱帯地方の貴重な産物を中国や日本へと供給していました。このように、特定の2国間だけでなく、中国・日本・東南アジアの複数の地域を橋渡しする多角的なネットワークを構築していたことが、琉球の繁栄の鍵となりました。
問2	<b>答え 2</b> 書院造	足利義政が築いた東山文化を代表する銀閣寺（慈照寺）の東求堂同仁齋（とうぐどうどうじんさい）には、四畳半の畳の敷き詰め、床の間、棚、付書院といった現代の和室に共通する特徴が備わっています。これ以前の平安時代の寝殿造は、板張りの床に座る場所だけ畳を置くスタイルであり、書院造への変化は日本人の住生活の大きな転換点となりました。
問3	<b>答え 1</b> 倭寇と呼ばれる海賊による密貿易を防ぎ、正式な貿易船であることを証明するため	当時、東アジアの沿岸部では倭寇（前期倭寇）と呼ばれる海賊が活動し、略奪や密貿易を行っていました。明は倭寇の取り締まりを強く求めていたため、幕府は「勘合」という割印のある札を持参させ、それを持たない海賊船と正式な遣明船を厳格に区別する仕組みを整えました。
問4	<b>答え 1</b> 勘合	明が倭寇の取り締まりを強く求めたことを背景に、室町幕府は正式な使節であることを証明するために、明から与えられた「勘合（勘合符）」を使用しました。この証明書を、明側が保管する帳簿と照らし合わせて確認することで、海賊との識別を行いました。
問5	<b>答え 1</b> 土倉・酒屋	室町時代には貨幣経済の浸透に伴い、質屋のような業務を行う「土倉」や、酒造業を営みながら豊富な資金を貸し付ける「酒屋」といった金融業者が台頭しました。室町幕府は彼らに「倉役」や「酒屋役」という税を課すことで、幕府の重要な財源としました。
問6	<b>答え 1</b> 当時の民衆の生活などをユーモラスに描いたせりふ劇である。	狂言は、神話や悲劇を題材とすることが多い能とは対照的に、名主と家来の関係など、当時の身近な人間関係や日常の失敗談を「笑い」として表現しました。室町時代の文化が、貴族や武士の文化だけでなく、民衆のエネルギーを反映していたことを示す代表的な事例です。
問7	<b>答え 1</b> 農民たちが『徳政』を求めて蜂起し、京都の質屋や酒屋を襲って借金の証文を破棄させた。	正長の土一揆は、日本で最初の大規模な土一揆とされます。近江の馬借（運送業者）らが「徳政」をスローガンに掲げて蜂起し、京都の金融業者である酒屋や質屋、土倉を襲撃しました。彼らは実力で借金の証文を奪い取ったり破棄したりすることで、事実上の債務消滅を狙い、幕府に法令の発布を迫りました。他の選択肢は、鎌倉時代の永仁の徳政令や、江戸時代の政策・運動の説明です。
問8	<b>答え 2</b> 書院造	室町幕府の8代将軍・足利義政が営んだ東山文化では、禅宗の影響を受けて簡素で気品のある美しさが重んじられました。銀閣と同じ敷地にある東求堂の「同仁齋」は、義政の書齋として使われた場所です。ここには、現代の和室にも共通する畳、障子、床の間といった要素が備わっており、和風建築の原型である「書院造」の初期の遺構として非常に重要です。平安時代の貴族の住居であった寝殿造とは、室内の構造や機能が大きく異なります。

問1 鎌倉時代において、後鳥羽上皇が幕府から政権を取り戻そうとして兵を挙げたものの敗北し、結果として幕府が朝廷の監視や西日本の統治を強化するために「六波羅探題」を設置する契機となった出来事を選びなさい。（2017年 鳥取公立入試 類似）

1. 平治の乱                      2. 承久の乱                      3. 平将門の乱                      4. 建武の新政

問2 北海道には、縄文時代につくられた「キウス周堤墓」などの遺跡が残されています。この北海道やその周辺諸島に古くから住んでおり、独自の文化を築いてきた先住民族の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2022年 沖縄公立入試 類似）

1. アイヌ民族                      2. 屯田兵                      3. 琉球民族                      4. 渡来人

問3 室町時代、村ごとに結成された自治組織である「惣」の力を背景に、農民や運送業者が団結して、幕府や高利貸しに対して借金の帳消しを要求した行動について、彼らが布告を求めた命令の名称として正しいものはどれですか。（2025年 秋田公立入試 類似）

1. 徳政令                      2. 人掃令                      3. 御成敗式目                      4. 武家諸法度

問4 室町時代、第3代将軍の足利義満が明（みん）との間で始めた正式な貿易において、当時活動していた海賊である倭寇（わこう）と、幕府が認めた正式な貿易船を明確に区別するために使用された、二枚一組の割符（札）を何と呼びますか。（2018年 愛媛公立入試 類似）

1. 勘合                      2. 朱印状                      3. 日宋貿易証                      4. 御朱印

問5 室町時代に起きた土一揆の際、借金が帳消しになったことを当時の農民たちが石に刻んで残した碑文（徳政碑文）が現代に伝わっています。このような碑文が作られた社会的な背景として、正しい説明はどれですか。（2023年 新潟県公立入試 類似）

1. 農民たちが惣という組織を通じて強い団結力を持ち、自らの要求を実力行使で通す力を持っている。                      2. 幕府が農民の生活を保護するために、定期的にすべての借金を免除する法律を石碑に刻ませた。                      3. 馬借などの運送業者が、農民の代わりに借金を返済したことを記念して各地に建立した。                      4. 酒屋や土倉などの高利貸しが、農民からこれ以上襲撃されないように自ら借金の破棄を宣言した。

問6 室町時代に足利義満が開始した日明貿易（勘合貿易）において、日本が中国（明）から輸入した品物の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選びなさい。なお、当時の日本は国内で独自の貨幣を鑄造していなかったため、この貿易によって持ち込まれたものが国内の経済で広く流通しました。（2021年 京都公立入試 類似）

1. 銅銭・生糸・書籍                      2. 銅・硫黄・刀剣                      3. 綿織物・鉄・鉄砲                      4. 銀・ガラス製品・経典

問7 中世の政治史を整理した年表において、鎌倉幕府の滅亡後、武家政権が再び確立される過程について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 秋田県公立入試 類似）

1. 足利尊氏が、後醍醐天皇との対立の末に北朝を立て、征夷大將軍となって幕府を開いた。                      2. 足利義満が、金閣を建立するとともに中国の明と貿易を行い、幕府の権威を最大に高めた。                      3. 源頼朝が、全国に守護・地頭を設置する権利を得て、鎌倉に武家政権を樹立した。                      4. 北条時宗が、元軍の侵攻を退け、幕府による全国の武士への統制を強化した。

問8 室町時代の外交において、三代将軍の足利義満が明の皇帝に対してとった外交姿勢とその後の貿易の形式について述べた文として、正しいものはどれかを選びなさい。（2016年 岐阜公立入試 類似）

1. 明の皇帝に対して臣下の礼をとり、朝貢という形式で貿易を行う道を選んだ                      2. 対等な立場での国交を求め、書状の中で「日出づる処の天子」と名乗った                      3. 貿易の利益を独占するため、明の皇帝からの日本国王という称号を拒絶した                      4. 元寇による対立関係を解消するため、大量の銀を無償で献上する形式をとった

問9 室町時代の第3代将軍である足利義満は、京都の北山に金閣を建てるなど、公家と武家の文化が融合した北山文化を築きました。この時代、足利義満の保護を受けて大成された、猿楽や田楽を源流とする日本の伝統芸能は何ですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 能                      2. 歌舞伎                      3. 人形浄瑠璃                      4. 雅楽

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> <b>承久の乱</b>	1221年に起こったこの乱により、朝廷側の勢力は完全に制圧されました。幕府はこれ以降、京都に六波羅探題を置いて朝廷を厳しく監視し、それまで支配が及びにくかった西日本への統制を強めることになりました。平治の乱はこれより以前の平安末期の出来事であり、平氏が政権を握るきっかけとなった争いです。
問2	<b>答え 1</b> <b>アイヌ民族</b>	北海道や千島列島、樺太（サハリン）などの地域に古くから居住してきた先住民族です。彼らは自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の精神文化や、アイヌ語という独自の言語を持っていました。記述の「キウス周堤墓」などの縄文時代の遺跡に見られる文化とも深い関わりがあり、日本の歴史における先住民族として位置づけられています。
問3	<b>答え 1</b> <b>徳政令</b>	室町時代には農民の自立が進み、村ごとの自治組織である「惣（惣村）」が形成されました。生活に困窮した農民たちは、馬借などの運送業者とともに土一揆を起こし、幕府に対して借金を無効にする「徳政令」の発布を強く求め、土倉や酒屋などの高利貸しを襲撃しました。人掃令は安土桃山時代、御成敗式目は鎌倉時代、武家諸法度は江戸時代のものです。
問4	<b>答え 1</b> <b>勘合</b>	室町幕府の全盛期を築いた足利義満は、明の皇帝から「日本国王」の称号を得て、正式な国交を結びました。当時、東シナ海などでは「倭寇」と呼ばれる海賊が略奪行為を行っており、明側はこれに強く抗議していました。そこで、正式な貿易船であることを証明するために、漢字の半分が書かれた「勘合（勘合符）」という割符を、明側が持っている控えと照らし合わせる方式が採用されました。この仕組みを用いた貿易であるため、勘合貿易と呼ばれます。
問5	<b>答え 1</b> <b>農民たちが惣という組織を通じて強い団結力を持ち、自らの要求を実行行使で通す力を持っていた。</b>	当時の碑文（大和国柳生街道の徳政碑文など）は、土一揆などの結果として借金がなくなったことを農民自身や地域社会が証明するために残されたものです。これは、惣を中心とした農民の連帯が、幕府や高利貸しに対して要求を通すほどの社会的勢力になっていたことを示しています。
問6	<b>答え 1</b> <b>銅銭・生糸・書籍</b>	室町時代、幕府は明から大量の銅銭（永楽通宝など）を輸入することで、国内の貨幣経済を発展させました。また、高級な衣服の原料となる生糸や、当時の知識層が求めた書籍も主要な輸入品でした。一方で、選択肢にある「銅・硫黄・刀剣」は日本から明へ送られた輸出品であり、「鉄砲」が伝来するのは戦国時代に入ってからのことです。
問7	<b>答え 1</b> <b>足利尊氏が、後醍醐天皇との対立の末に北朝を立て、征夷大將軍となって幕府を開いた。</b>	足利尊氏は後醍醐天皇と対立した際、別の天皇（光明天皇）を立てて北朝とし、自らは幕府を開きました。これに対し、後醍醐天皇は吉野（奈良県）に逃れて南朝を開き、南北朝時代へと突入することになります。
問8	<b>答え 1</b> <b>明の皇帝に対して臣下の礼をとり、朝貢という形式で貿易を行う道を選んだ</b>	足利義満は、巨大な帝国である明との貿易から得られる利益を幕府の財政基盤とするため、プライドよりも実利を優先しました。彼は明の皇帝に対して家臣としての立場（日本国王）を認め、貢ぎ物を送る「朝貢」という形式をとることで、公式な国際関係を築きました。
問9	<b>答え 1</b> <b>能</b>	室町時代の北山文化において、観阿弥・世阿弥の親子が、それまで民衆の間で行われていた猿楽や田楽などの芸能を、幕府の保護を受けながら芸術的に高め、現在の「能（能楽）」の形へと完成させました。